講義コード	21H0122601	授業形態 講	義	事前登録の有無 なし	担当者	氏名		開講期
科目名	ジオイン	<sup>'</sup> フォマチッ	ックス		後藤 眞	[太郎	Ţ	2期
			\		1	**		- · · · •
	l GIS(地理標表	報システム)	リキートセン	バング CDSIt 地球環境	科学部でほとんどの知識	川厂家接口馬	関係するは2	析である ヱ
授業の目的	GIS(地理情報システム)、リモートセンシング、GPSは、地球環境科学部でほとんどの観測に密接に関係する技術である。その技術が、実際にどのように使われ、どのような原理で観測されるのかの概要を学び、今後これらを用いた観測に適用できる知識を習得する。							
	ジオインフォ	マチックスの適	囲可能な課	題につき概略が把握できる	0			
到達目標							1 5 1 Nt /H-	
	授業終了後講	 	行う。板書	やパワーポイント以外に、	講義内容をメモすること	こができる。	ように準備す	する。また、
授業外学修内容· 授業外学修時間数		0時間以上の授業		<b>なうこと。</b>				
授業計画	【第1回】ジオインフォマチックスで何ができるか 【第3回】ジオインフォマチックスによる森林管理/生態系管理 【第4回】ジオインフォマチックスによる水資源管理/地形モニタリング 【第5回】自居なジオインフォマチックス スマートフォンを利用する 【第6回】自居の建論 【第7回】自居による空間分析 【第8回】自居の事例(1) 【第9回】リモートセンシングの原理 【第10回】リモートセンシングの事例(1) 【第12回】リモートセンシングの事例(2) 【第13回】GPSの原理 【第13回】GPSの原理 【第13回】GPSの原理 【第15回】ジオインフォマチックスの総合利用事例・まとめ							
	   講義内課題/4	40%、理解度確認	ステスト/60%					
成績評価の方法								
	Webclass, Te	eamsにより行う。	<b>&gt;</b>					
フィードバックの内容	<del>-</del>							
	T 1 - 141 NK							
	対面授業							
- マギウケンボーー・・								
授業実施形態について								
教科書	L							
書籍名			著者		出版者	出版年	ISBN/ISSN	
					-			
指定図書								
書籍名			著者		出版者	出版年	ISBN/ISSN	
					+			
参考書						<u> </u>		
書籍名			著者		出版者	出版年	ISBN/ISSN	
					1			
					+			
			•					
教員からのお知らせ								
+= -==	本授業に関す	る質問・相談は	t、授業終了	後、次の授業に支障がない	範囲で対応します。			
オフィスアワー								- /
アクティブ・ラー ニングの内容	WingNet、Goo	ogleDoc, Jamboa	ad、Miroなと	ぎを利用したオンラインワ-	- クショップを用い課題	につきグル	<i>、</i> ープワーク	を行う。
その他								